病院名	県立二戸病院
研修科目名	内科

内　科

≪プログラムの名称≫
必修科目　内科臨床研修プログラム

Ⅰ　一般目標

日常の診療で頻繁に遭遇する幅広い内科疾患に適切に対応するために、プライマリ・ケアの基本的な診療能力（知識・技能・態度）を修得すること。

Ⅱ　行動目標

【消化器科】
１）消化器疾患の検査の基本的技術を習得し、検査所見、読影能力を身につける。
２）患者の検査および治療計画を立てることができる。
３）消化器疾患の典型例を診断し、外科的適応の有無を判断できる。
４）癌末期患者の管理と治療について理解できる。
５）糖尿病患者の検査や治療について理解し､治療計画を立てることができる。
６）高脂血症について理解し、治療できる。

【循環器科】
１）全身の観察（視診、聴診、触診）し記載できる。
２）意識、呼吸状態、循環徴候を判断、評価し、的確な処置と検査ができる。
３）バイタルサインの変化に早急に対応するための注意義務（モニタリング）を実践できる。
４）重症疾患で起こりえるバイタルサインの変化を予測できる。
５）各疾患の急性期・慢性期に起こりえる合併症を理解し説明できる。
６）患者さんの精神的不安や苦痛を受け入れ対応できる。
７）心血管疾患のリスクとなる生活習慣病を列挙できる。
８）生活習慣病の運動、食事、薬物療法の方法を理解できる。

【呼吸器科】
１）患者の病歴聴取、全身身体所見の取り方を理解し身につける。。
２）胸部の打診、聴診、触診法を理解し、身につける。

【神経内科】
１）患者の病歴聴取、一般内科学的所見の取り方を理解し身につける。
２）神経学的所見の取り方（質的診断、部位診断）を理解し、身につける。
意識状態、精神状態、高次大脳機能、脳神経系、
筋萎縮と筋力低下、感覚障害、協調運動系、自律神経系

Ⅲ　経験目標

【消化器科】
１）基本的手技
①　腹部の理学的所見
②　腹部単純撮影写真の読影。
③　胃、腸Ｘ線透視検査を実施し、代表的疾患の読影。
④　胃内視鏡検査で内視鏡を胃まで挿入し、代表的疾患の写真読影。
⑤　緊急内視鏡、生検、止血、大腸内視鏡、ポリペクトミー、ＥＲＣＰ、ＰＴＣＤ、食道静脈瘤硬化療法、腹部血管造影、肝動脈塞栓術の助手又は見学。
⑥　腹部の超音波診断
⑦　腹水穿刺
２）治療上の基本
①　検査計画、治療計画をつくることができる。
②　消化性潰瘍の治療と生活指導ができる。
③　下痢、便秘の治療ができる。
④　吐血、下血の初期治療ができる。
⑤　胆石症、胆嚢炎の治療ができる。
⑥　肝炎、肝硬変の治療と生活指導ができる。
⑦　膵炎の治療ができる。

⑧　外科的適応が理解できる。
⑨　急性腹症の対応ができる。
⑩　癌末期患者の管理ができる。
⑪　糖尿病の食事療法、経口糖尿病薬、インスリンを使用した治療ができる。
⑫　糖尿病昏睡、低血糖に対する対処ができる。
⑬　糖尿尿合併症を理解している。
⑭　高脂血症について理解し治療できる。

【循環器科】

１）心肺停止
①　心臓マッサージ、人工呼吸、電気的除細動の心肺蘇生術の基本を経験する。
②　心肺蘇生ガイドラインを熟知し、正しい蘇生法を行うことができる。
③　心肺蘇生に必要な薬物の使用法や禁忌事項を理解する。

２）ショック
①　心原性ショックを理解し、行うべき治療と検査を列挙できる。

３）意識障害
①　意識障害（失神を含む）を生じる循環器疾患を列挙でき、検査、治療方法を理解する

４）心不全
①　心不全の病態と病因を理解できる。
②　心不全患者に行う検査を把握し、治療方針を立てることができる。
③　心不全患者の合併症とその予防方法を説明できる。
④　心不全の再発予防のための生活指導ができる。

５）狭心症、心筋梗塞、急性冠症候群
①　診断と治療の方法を理解できる。
②　起こりうる合併症を列挙し説明できる。
③　急性期に必要なモニタリングの実際とバイタルサインの把握ができる。
④　慢性期の治療やリハビリテーションの方法を理解できる。
⑤　退院時指導の要点が理解できる。

６）心筋症について
①　診断と治療の方法を理解できる。
②　起こりうる合併症を列挙し説明できる。

７）不整脈（主な頻脈性、徐脈性不整脈）
①　診断と治療の方法を理解できる。
②　起こりうる合併症を列挙し説明できる。
③　急性期に必要なモニタリングの実際とバイタルサインの把握ができる。
④　ペースメーカー治療の適応を説明できる。手術治療に参加する。
⑤　一時的ペーシングの方法と実際を理解し、指導医と共に実践できる。

８）弁膜症について
①　診断と治療（内科的、外科的）の方法を理解できる。
②　診断および治療方針決定のための検査を理解し、治療方針を立案できる。
③　弁膜症の合併症を理解できる。

９）動脈疾患（動脈硬化症、大動脈解離等）
①　診断と治療（内科的、外科的）の方法を理解できる。
②　診断および治療方針決定のための検査を理解し、治療方針を立案できる。

１０）静脈、リンパ管疾患（深部静脈血栓症、下肢静脈瘤、リンパ浮腫）
①　診断と治療（内科的、外科的）の方法を理解できる。
②　診断および治療方針決定のための検査を理解し、治療方針を立案できる。

１１）高血圧症（本態性、二次性高血圧等）
①　高血圧症の分類ができる。
②　高血圧症ガイドラインを熟読し、高血圧症治療について理解する。
③　高血圧症の危険因子と臓器障害を説明できる。
④　高血圧症患者の生活習慣の修正の指導ができる。
⑤　高血圧緊急症への対応ができる。

１２）肺循環障害（肺塞栓について）
①　診断と治療（内科的、外科的）の方法を理解できる。
②　本疾患を疑うべき臨床症状を説明できる。
③　本疾患の診断に必要な検査を列挙できる。
④　本疾患の病態に応じた緊急治療の方法を説明できる。

１３）循環器検査（指導医のもとにできるだけ実践する。）

① 胸部レントゲン写真
② 心電図（１２誘導、モニター）
③ 酸素飽和度(パルスオキシメーター)
④ 心臓超音波検査（経胸壁、経食道、冠動脈、薬物負荷）
⑤ 血管超音波検査（頚動脈、下肢動脈、下肢静脈、腹部大動脈）
⑥ ＡＢＩ、ドップラー血流計
⑦ 運動負荷心電図（トレッドミル）
⑧ 心筋シンチグラム（負荷、安静）
⑨ 肺血流シンチグラム
⑩ ホルター心電図
⑪ 心臓カテーテル検査（待機、緊急）
⑫ スワンガンツカテーテル検査
⑬ 心臓電気生理学的検査
⑭ 採血検査（一般、生化学、血清、血糖、ホルモンなど）
⑮ 血液ガス分析
⑯ 尿検査（一般、沈渣、ホルモン、電解質など）

【呼吸器科】

１）呼吸器疾患
① 人工吸入器の導入、管理、離脱
② 気管支喘息の治療
③ 呼吸器感染症の治療
④ 酸素療法
⑤ 気胸に対する治療
⑥ 肺癌の治療

２）血液疾患
① 輸血
② 貧血の治療
③ 造血器悪性腫瘍（白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫）の治療
④ 出血、凝固異常に対する治療（血小板疾患、ＰＩＣ等）

３）呼吸器及び血液疾患、感染症に関する検査法
① 一般検尿、血算、血液生化学検査、喀痰検査（一般細菌、抗酸菌、細胞診）
② 胸部Ｘ線検査、胸部ＣＴ
③ 気管支鏡
④ 呼吸機能検査
⑤ 胸水検査
⑥ 末梢血塗沫標本作成
⑦ 骨髄穿刺法
⑧ 血液型検査法

【神経内科】

１）神経疾患
① 薬物治療（血液浄化療法も含む）
・脳血管障害の治療、急性期・慢性期
・パーキンソン病の治療
・各種不随意運動の治療
・免疫性神経疾患の治療
・てんかんの治療
② 神経内科救急疾患の治療
・意識障害
・てんかん重責
・呼吸筋麻痺
③ その他
・生活指導　・リハビリテーション　・訪問診療

２）神経疾患に関する検査法
① 内科一般検査（血液一般、生化学、血液凝固、ECG、胸部単純XP）
② 腰椎穿刺、電気生理学検査、
③ 頭部・脊髄画像診断（XP、CT、MRI、SPECT、Angiography）
④ 神経・筋生検、神経心理学検査、遺伝子診断

３）研修が望まれる疾患
脳血管障害（急性期・慢性期）、痴呆（血管性痴呆を含む）、

パーキンソン病、その他の大脳基底核疾患、
脳炎、髄膜炎、多発性硬化症、重症筋無力症、筋萎縮性側索硬化症、
脊髄小脳変性症、ミオパチー、ニューロパチー、てんかん、頭痛、めまい、
脊髄障害、代謝性脳症、一酸化炭素中毒、失神
加齢に伴う栄養摂取障害、老年症候群（誤嚥、転倒、失禁、褥創等）

Ⅳ　研修スケジュール

【消化器科：８週間の例】　　（都合により若干の変更もあります。）

	月	火	水	木	金
第1週～7週	外来診察	消化器エコー	外来診察	消化器エコー	外来診察
AM	胃透視	胃カメラ	胃透視	大腸カメラ	胃・腸検査
PM	大腸ｶﾒﾗ、診療	回診、ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ	回診、ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ	回診、ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ	回診、ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ
第8週	外来診察	消化器エコー	外来診察	消化器エコー	外来診察
AM	胃透視	胃カメラ	内視鏡	大腸カメラ	総括ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ
PM	大腸ｶﾒﾗ、診療	回診、ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ	回診、ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ	回診、ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ	総括ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ

【循環器科：８週間の例】

	月	火	水	木	金
第1週～7週					
AM	外来診察	循環器エコー	ﾄﾚｯﾄﾞﾐﾙ	外来診察	外来診察
PM	回診、ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ	ﾍﾟｰｽﾒｰｶｰ埋込	回診、ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ	心ｶﾃ、ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ	回診、ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ
第8週					
AM	外来診察	循環器エコー	ﾄﾚｯﾄﾞﾐﾙ	外来診療	総括ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ
PM	回診、ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ	ﾍﾟｰｽﾒｰｶｰ埋込	回診、ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ	心ｶﾃ、ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ	総括ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ

【呼吸器科：４週間の例】

	月	火	水	木	金
第1週～3週					
AM	外来診察	外来診察	血液外来	血液外来	血液外来
PM	回診、ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ	内視鏡、ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ	回診、ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ	回診、ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ	回診、ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ
第4週					
AM	外来診察	外来診察	血液外来	血液外来	血液外来
PM	回診、ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ	内視鏡、ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ	回診、ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ	回診、ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ	総括ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ

【神経内科：４週間の例】

	月	火	水	木	金
第1週～3週					
AM	外来診察	外来診察	外来診察	外来診察	外来診察
PM	回診、ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ	内視鏡、ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ	回診、ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ	回診、ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ	回診、ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ
第4週					
AM	外来診察	外来診察	外来診察	外来診察	外来診察
PM	回診、ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ	内視鏡、ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ	回診、ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ	回診、ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ	総括ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ